

記入例

景観形成基準確認シート

①建築物の建築等、②工作物の建設等：自然景観保全地域

届出者氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇 （代理人：株式会社〇〇 担当：〇〇）																					
行為の場所	米沢市大字〇〇 〇〇番地																					
周辺景観の特性	○ 当行為地の周囲には、〇〇公園、〇〇山があり、景観が優れた地域である。 ○ 当行為地は、歴史的遺産である〇〇に近接しており、近隣の建築物も〇〇の意匠を取り入れたものとなっている。 ○ 当行為地は、田園集落の端に位置し、敷地となりは農地が広がっている。 ○ 当行為地は、〇〇公園から〇〇山への眺望の中間点にあり、周囲は田園となっている。																					
項目	景観形成基準	具体的な配慮又は工夫の内容	適否※	意見※																		
形態意匠	周辺の景観との調和に配慮し、圧迫感を与えないよう工夫すること。	○ 周辺建築物にあわせ、勾配屋根とした。 ○ 外部仕上げに地場の伝統的な材料である〇〇を用い地域性が感じられるものにした。	適・否	「〇〇に配慮した。」 「〇〇と調和した。」 等の記載ではなく、 「〇〇との連続性を意識し、〇〇とした。」 「周囲が〇〇のため、〇〇と調和した意匠とした。」など具体的に記入してください。																		
色彩	建築物	屋根や外壁は、周辺の景観と調和する落ち着いた色のある色彩を基調とすること。	適・否																			
	工作物	目立つ色彩は避け周辺の景観と調和する色彩を基調とすること。	適・否																			
高さ	周辺の景観に配慮した高さとすること。	○ 散居地帯なので、敷地内にある屋敷林よりも低い高さにした。 ○ 神社の参道に面しているため、他の参道に面した家屋と同程度の高さに抑えた。	適・否																			
位置	建築物及び工作物	尾根近くにおいては、稜線を乱さないよう、できる限り低い位置とすること。	適・否																			
	工作物	鉄塔、電柱、電波塔類は、周辺の景観への影響を極力抑えるよう配慮すること。	適・否																			
緑化	道路に面する場所や敷地内は花や樹木等による緑化に努めること。	○ 周辺がウコギ垣根なので、連続するようにウコギ垣根を設置した。	適・否																			
眺望景観	景観計画で定める保全対象の眺望景観における視点からの主対象の眺めを著しく阻害しないこと。 建築物(工作物)の高さは、景観計画で定める視点と主対象の上端を結ぶ面を超えないようにすること。 やむをえず眺望面を超える場合は、当該建築物(工作物)の位置、形態意匠を保全対象の眺望景観全体と調和のとれたものとする。	<table border="1"> <tr> <td>主対象名</td> <td>〇〇山</td> </tr> <tr> <td>視点となる道路名</td> <td>〇〇線</td> </tr> <tr> <td>視点の位置</td> <td>緯度 NO° O' O"</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>経度 EO° O' O"</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標高 〇,〇〇〇m</td> </tr> <tr> <td>主対象～視点間距離</td> <td>〇,〇〇〇m</td> </tr> <tr> <td>主対象～視点標高差</td> <td>〇,〇〇〇m</td> </tr> <tr> <td>建築物等～視点間距離</td> <td>〇,〇〇〇m</td> </tr> <tr> <td>建築物等の高さ</td> <td>〇,〇〇〇m</td> </tr> </table> ○ 検討の結果、眺望面を超えない。 ○ 検討の結果、眺望面を超えてしまうが、敷地の範囲内で最大限影響がでない配置とした。 また、眺望面を超える部分が小さくなるように工夫した。(別添の資料のとおり。) ※主対象から建築物等へ結んだ線のうちもっとも眺望への影響の大きい線を延長して視点となる道路との交点	主対象名	〇〇山	視点となる道路名	〇〇線	視点の位置	緯度 NO° O' O"	※	経度 EO° O' O"		標高 〇,〇〇〇m	主対象～視点間距離	〇,〇〇〇m	主対象～視点標高差	〇,〇〇〇m	建築物等～視点間距離	〇,〇〇〇m	建築物等の高さ	〇,〇〇〇m	適・否	高層の建築物及び工作物については、視点となる道路に隣接しない場合でも、眺望景観の検討を行ってください。 眺望面を超える場合は、必ず事前相談を行ってください。 また、行為の規模、眺望面を超えて行為を行わなければならない理由等を整理した資料を添付してください。
主対象名	〇〇山																					
視点となる道路名	〇〇線																					
視点の位置	緯度 NO° O' O"																					
※	経度 EO° O' O"																					
	標高 〇,〇〇〇m																					
主対象～視点間距離	〇,〇〇〇m																					
主対象～視点標高差	〇,〇〇〇m																					
建築物等～視点間距離	〇,〇〇〇m																					
建築物等の高さ	〇,〇〇〇m																					

[記入上の注意]※印の欄は、記入しないでください。